

令和 4 年度

前期日程

地理歴史問題

〔注意〕

1. 問題冊子及び解答用冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけない。
2. 受験番号は、解答用紙の受験番号欄（計 6 か所）に正確に記入すること。
3. 問題冊子は、表紙を除き 1 ページから 12 ページまでである。9 ページ以下は、下書き用紙である。脱落している場合は直ちに申し出ること。
4. 解答用冊子には、解答用紙 3 枚が折り込まれている。解答用紙をミシン目に従って切り離すこと。
5. 解答は、解答用紙の指定されたところに記入すること。枠からはみ出してはいけない。
6. 問題冊子の下書き用紙のほか、問題冊子の余白も下書きに使用してよい。
7. 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
8. 問題冊子は持ち帰ること。

I**世界史問題**

- (I) 次の資料 1～3 は、それぞれ 17 世紀前半、17 世紀後半、19 世紀初頭のアメリカ大陸と西インド諸島におけるフランス植民地に関連する資料である。それらを読み、下の問い(問 1～問 6)に答えなさい。

資料 1 フランス領カナダ植民地東部の原住民
ヒューロン族とフランシスコ会の宣教師
を描いた図

著作権の関係により、公開しません。

資料 2

第 1 条

余の島々〔フランス領西インド諸島〕から、そこに居住しているすべての を追放するよう厳命する。 はキリスト教の明白な敵であり、この開封王書の発行から数えて 3 カ月以内に余の島々から立ち退くよう命ずる。違反者は身柄拘束と財産没収に処する。

第 2 条

余の島々にやってくるあらゆる はローマ・カトリックの洗礼を受け、カトリックの宗教教育を施される。(中略)

第 3 条

ローマ・カトリック以外の宗教の公的礼拝を禁止する。違反者は余の命令への反逆者および不服従者として処罰する。(中略)

第 12 条

同士の婚姻により生まれた子供は であり、両親が主人を異にする場合、父方ではなく母方の主人のもとに帰属する。

資料 3

市民よ、2世紀にわたってあなたがたの国を血まみれにしてきた野蛮人どもを国から追い出しただけでは十分ではありません。フランスがあなたがたの目にさらしていた自由という幻影を弄んでいた勃興し続ける派閥を抑えただけでは十分ではないのです。国民の権威の最後の発動によって、わたしたちが生まれた国で自由の帝国を永遠に確実なものにしなければなりません。わたしたちの精神を最も屈辱的な麻痺状態に長いあいだ保ってきた非人間的な政府から、わたしたちを再び従属させるという希望を完全に奪わなければなりません。最後に、独立して生きなければなりません。さもなくば死を。

独立か、さもなくば死を。これらの神聖な言葉がわたしたちを結集させ、戦いとわたしたちの再会の合図となるものでありますように。(中略)

わたしたちの国ではすべてがこの野蛮な人々の残虐行為の記憶をよみがえらせます。わたしたちの法、慣習、都市、すべてはフランスの刻印を残しています。(中略)

わたしたちは自由になることを取って選んだのですから、わたしたち自身で、わたしたち自身のために、自由になろうではありませんか。成長していく子供のように、自分の重さで、自分にとって役に立たない、自分の歩行を妨げる縁を壊そうではありませんか。どんな人たちがわたしたちのために戦ってくれたのでしょうか、どんな人たちがわたしたちの労働の成果を享受したいと思っているのでしょうか。そして、 になるために打ち負かすというのは、なんと不名誉でばかげた行為でしょう。 !…身分をあらわすこの呼び名はフランス人に任せましょう。彼らは征服した結果自由であることをやめたのです。

ほかの範にならしましょう。将来を見据え、後世に臆病な例を残すことを恐れて、自由な人々の列から外されるよりも、絶滅することを選んだ人々を真似しましょう。

問 1 空欄 にあてはまる語は何か。①～⑤から選びなさい。

- ① イエズス会士 ② マニ教徒 ③ ユダヤ教徒
④ 原住民 ⑤ 無神論者

問 2 空欄 に関して、最も関連性の高い記述はどれか。①～④から選びなさい。

- ① ドイツの社会学者マックス・ヴェーバーによって、近代資本主義の精神的基盤となる職業倫理を育んだ土壌であると論じられた。
② シオニズムが構想したパレスチナへの回帰と国家建設は、1917年にイギリスが出したバルフォア宣言によって後押しされた。
③ 世界をアフラ＝マズダとアーリマンの絶え間ない戦いとしてとらえる宗教であり、アケメネス朝で保護された。
④ コンスタンティヌス帝が開催したニケーア公会議において三位一体説に反対したため異端とされた。

問 3 資料 1 と資料 2 を参考にしながら、16 世紀から 17 世紀のヨーロッパにおけるカトリック教会の状況を説明しなさい(100 字程度)。

問 4 空欄 にあてはまるものは、17 世紀以降のアメリカ大陸や西インド諸島に多数存在していた。このような状況が生じた経緯を説明しなさい(150 字程度)。

問 5 資料 3 はある歴史的イベントに関連して発せられた文書である。その出来事とは何か。答えなさい。

問 6 資料 3 が示すイベントの背景には、フランスが最終的に軍事的な介入を断念したという事情もあった。その理由を、当時のフランスの内政・外政の状況をふまえて説明しなさい(100 字程度)。

(II) 19世紀半ば以降、東南アジア島しょ部ではイギリスやオランダによる植民地経営が本格化し、現地社会に大きな変容をもたらした。植民地体制下で社会生活が安定し、人口が増加した。貧富の格差は生じたものの、富裕層も成長した。次の表1・表2・グラフ1および資料1は、それらに関連したものである。それらを見て、下の問い(問1～問4)に答えなさい。

表1 作物 A の輸出量に関するデータ

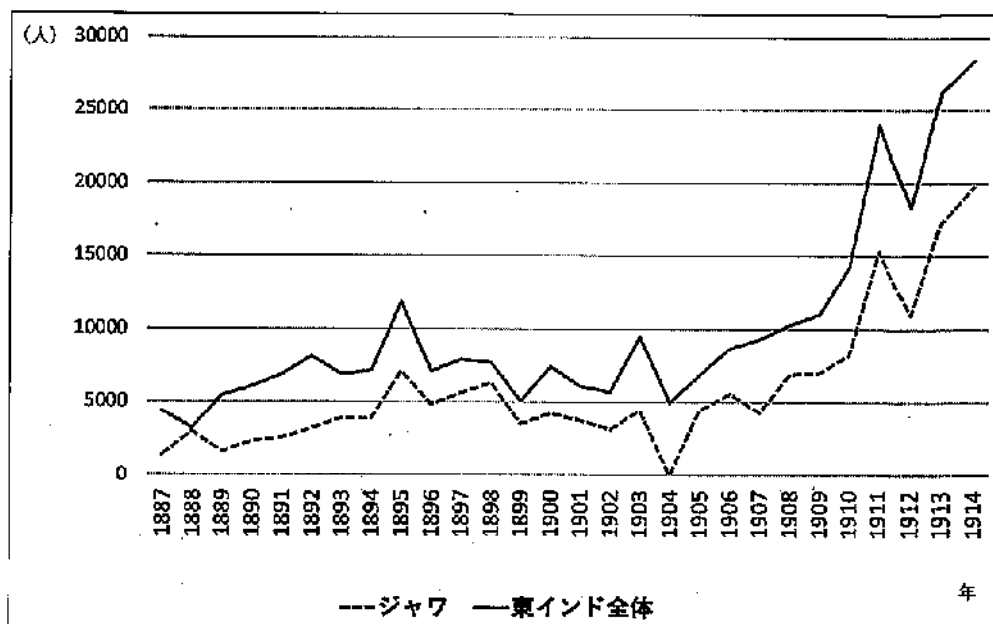
年	英領マレーの輸出量(t)	世界の総輸出量(t)	世界総輸出量に占める英領マレーの輸出量の比(%)
1910	6,500	94,000	6.9
1911	10,800	93,000	11.6
1912	20,300	112,100	18.1
1913	33,600	118,400	28.4
1914	47,000	121,700	38.6
1915	70,200	166,600	42.1
1916	96,000	210,100	45.7
1917	129,000	267,300	48.3
1918	112,000	221,400	50.6
1919	204,000	398,000	51.3
1920	181,000	353,600	51.2
1921	151,000	300,200	50.3
1922	214,000	399,700	53.5

表2 オランダ領東インドの主要製品の輸出額比率(%で表示, 1880~1930年)

	1880年	1890年	1910年	1920年	1930年
ゴム	0.1	0.2	2.1	8.4	18.2
香辛料	3.6	4.5	4.1	0.9	4.8
コーヒー	42.7	15.3	3.6	2.7	3.8
コブラ	—	5.4	12.8	4.7	7.8
砂糖	34.9	38.3	42.3	53.5	26.1
タバコ	10.5	16.3	9.8	8.6	6.2
茶	1.3	2.2	3.5	2.0	7.4
石油・石油製品	—	2.4	11.4	15.8	19.5
スズ・スズ鉱石	6.8	15.5	10.3	3.3	6.2

※各年の合計は100%にならないことがある

グラフ1 オランダ領東インドからのメッカ巡礼者数



資料1 オランダ領東インドで発行された『ムニール』誌の創刊号の巻頭言
(1911年)

タクワ(アッラーの戒めを完全に守り、神の禁止事項を行わないこと)とは、故郷に善行を伝えたり、子供たちを教え導いたりする助け合いの道にて、祖国と民族から、この世と来世の後退を取り除き、知識や学習を愛する人々へそれぞれの心を奮い立たせる知識の書物を執筆することである。イスラム教の基本を知り、全ての神の命によって善行をおこなうことは、全ての善行の種であり、基礎である。また、エジプトやインドやトルコなどのイスラム大国ではすでに行われているように、日刊紙、週刊誌、月刊誌など、様々な新聞や雑誌を発行する上での助け合いや努力をすることは、善行の種や進歩の木がさらに増えて、民族と祖国の人々の宗教を強くする。(中略)

しかし、本当にそうであっても、我々の側にはまだ、我々の民族またはスマトラ島民族一般を指導し、イスラームの知識の道を進ませるための新聞も雑誌も存在しない。それゆえに、永遠に無知で、宗教の扉を閉じ(中略)、そしていつも人々を宗教から後退させ、自覚を失わせている。そしてついには全く宗教を失わせてしまうおそれがある。我々イスラム教徒にとって、宗教の後退と喪失以上に悪いことがあるだろうか。

問1 表1で扱われている作物

A

 は何か。①～④から選びなさい。

- ① コーヒー ② ゴム ③ 砂糖 ④ 茶

問2 表1・表2によると、19世紀末から20世紀初頭には、東南アジアからの輸出産品の構成や世界市場における東南アジア産品の占める割合に大きな変化があったことが確認できる。その要因について、宗主国との関係や技術革新、人口移動をふまえて説明しなさい(120字程度)。

問 3 グラフ 1 で確認できる現象はイギリス領マレーでも起きている。19 世紀末から 20 世紀前半にかけて東南アジアのムスリム社会にこのような現象が見られた要因について、表 1・表 2 で示されている経済的な変化や当時の世界的な交通環境をふまえて説明しなさい(120 字程度)。

問 4 20 世紀に入ると、東南アジア島しょ部ではアラビア文字で書かれた新聞・雑誌が数多く出版され、国境を超えて広く流通した。資料 1 はそうした雑誌の一つである。こうした雑誌の流通量増加の背景について、資料 1 で記された内容やグラフ 1 で示された現象をふまえて説明しなさい(150 字程度)。